

ツムラの簡単 チェンソー目立機

取扱説明書

P1

この度は、弊社チェンソー自立機をお買い上げ
頂きまして誠にありがとうございます。

◆ご使用前に

この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

お読みになった後は、お使いの方がいつでも見られる様に大切に保管して下さい。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「 警告」と「 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

↑ 警告 : 誤った取扱をしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意

△注意 : 誤った取扱をしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容での注意

なお、[▲注意]に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いわゆる安全に関する重要な内容を記載しているので、必ずお読みください。



※商品改良のため、
仕様、外観は予告なしに
変更することがあります。

天

P2

地
折
天

P3

地

◆安全上の注意
 ●火災、感電、ケガなどの事故を未然に防ぐために、
 次に述べる「安全上の注意」を必ず守って下さい。
 ●ご使用前に、この「安全上の注意」すべてをよく
 お読みの上、指示に従って正しく使用して下さい。
 ●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも
 見られる所に必ず保管して下さい。

△警告

- 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
 *ちらかった場所や作業場は、事故の原因となります。
- 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
 *目立機は雨中で使用したり、湿った、または、濡れた場所での使用はしないで下さい。
 *作業場は十分明るくして下さい。
- 感電に注意して下さい。
- 子供を近づけないで下さい。
 *作業者以外は、目立機に触れさせないで下さい。
 *作業者以外は、作業場へ近づけないで下さい。
- 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
 *乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管して下さい。
- きちんとした服装で作業して下さい。
 *たぶたぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないで下さい。
 *長い髪は、帽子やヘアーカバー等で覆って下さい。
- 保護めがねを使用して下さい。
 *作業時は、保護めがねを使用して下さい。また、粉塵の多い作業場では、防塵マスクを併用して下さい。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
 *常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにして下さい。
- 目立機は、注意深く手入れをして下さい。
 *延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換して下さい。
- 次の場合は、目立機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いて下さい。
 *使用しない、または、修理する場合。
 *刃物、砥石等の付属品を交換する場合。
 *その他危険が予想される場合。

- 不意な始動は避けて下さい。
 *電源につないだ状態でスイッチに指を掛けて運ばないで下さい。
 *プラグを電源に差込む前にスイッチが切れていることを確認して下さい。
- 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
- 油滴しないで十分注意して作業を行って下さい。
 *目立機を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業して下さい。
 *疲れている場合は、使用しないで下さい。また、酒気おびの時には、使用しないで下さい。
 *他人に目立機を貸す場合は、取扱方をよく説明し、取扱説明書を十分理解させて下さい。
- 損傷した部品がないか点検して下さい。
 *可動部分の位置調整及び締め付け状態、部品の損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認して下さい。
 *損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従って下さい。説明書に指示されていない場合はお買い求めの販売店または、弊社に修理を依頼して下さい。スイッチが故障した場合はお買い求めの販売店または、弊社で修理を行って下さい。
- 研削粉は、火花となって飛散しますので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけて下さい。また、研削火花を直接手足等に当たないようにして下さい。
 *火災ややけどの原因になります。
- 誤って、落したり、ぶつけたときは、そのまま使用しないで下さい。
- 目立機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。
 *破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- スイッチで始動及び停止操作の出来ない目立機は、使用しないで下さい。
- 指定の付属品やアタッチメントを使用して下さい。
 *取扱説明書及び弊社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると事故やケガの原因となる恐れがあるので使用しないで下さい。

◆使用上の注意

- 本製品のご使用について
 次に述べる注意事項を守って下さい。

△警告

- 目立作業は、チェンソーのエンジン（または電源）を切ってから行って下さい。
- 目立作業は、チェンソーのフレーキレバーをかけてから行って下さい。
- 目立する刃はいつもきれいにしてからセットして下さい。
- 目立する刃に異常がないか点検して下さい。
 *過度な消耗や摩耗のある刃は、砥ぎ直しをしないで下さい。

*本製品の使用時だけでなく、その刃を使っての作業時にも重大な事故を引き起こす原因になります。

- 製品の使用中もしくは、砥ぎ直した刃の使用時に、異常がある時は作業をやめて下さい。
 *ご使用の刃の設計や特質をよく理解して、早期に本製品の適正を判断して下さい。
- CBNホイールにヒビ、割れ等の異常がないことを確認してから使用して下さい。
 *異常があると、CBNホイールを破壊し、けがの原因になります。
- 目立する刃を確実にセットして下さい。
 *確実でないと、外れたりし、けがの原因になります。
- 研削粉は、火花となって飛散しますので、引火しやすいもの、傷つきやすいものは安全な場所に遠ざけて下さい。また、研削火花を直接手足等に当たないようにして下さい。
 *火災ややけどの原因になります。
- 誤って、落したり、ぶつけたときは、そのまま使用しないで下さい。
- 目立機に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。
 *破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 使用中、目立機の調子が悪いときは、そのまま使用しないで下さい。

△注意

- 本製品は様々なソーチェンが目立できるように開発しておりますが、多種ある市販品の中には本製品を利用できない場合がございます。対応していないソーチェンは無理に目立しないで下さい。
 *本取扱説明書を確認して下さい。わからぬ場合は、お買い求めの販売店に確認して下さい。
 *試運転で、うまく可動しない刃は無理に目立しないで下さい。
- 本製品の利用により、ソーチェンに不具合が予想される場合は目立しないで下さい。
- 本製品の使用により、または故障などにより生じたソーチェンの破損ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

◆目立機のご使用方法

目立機をご使用になる前に、この取扱説明書を必ずすべてお読み下さい。本機を間違った方法で使用すると、重大な事故となる場合がありますので注意下さい。

◆騒音に関する法条例に留意して下さい。

ご使用に際し、各都道府県等の条例で定める工場又は、事業所で使用する場合には、周囲に迷惑をかけないよう各条例で定める騒音規制値以下でご使用になることが必要です。必要に応じて、遮音壁を設けて下さい。もしゆるんんでいる所がありましたら締め直して下さい。

◆用途

- エンソー用ソーチェンの目立て

◆保守・点検

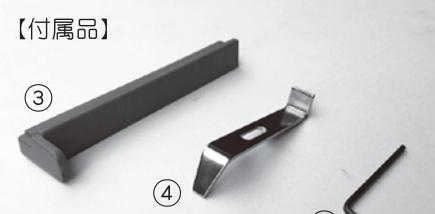
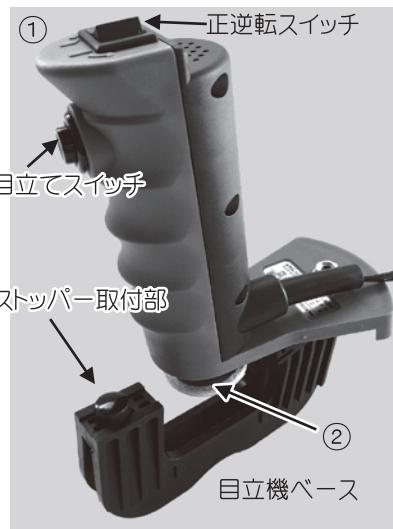
最高の状態で安全にご使用いただくために、常に保守点検をして下さい。
 ●本体に付いた切り屑などは常に掃除をしてきれいな状態を保って下さい。
 ●各部取付ネジでゆるんだところがないか、定期的に点検して下さい。
 ●各部分にヒビ・割れ・欠けなどないか定期的に点検して下さい。
 ●刃物類は切れ味の良い状態に手入れして下さい。モーターに無理がかからず安全に効率よくご使用いただけます。

△お願い

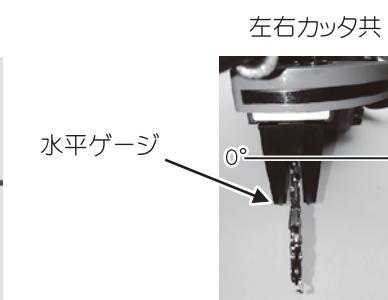
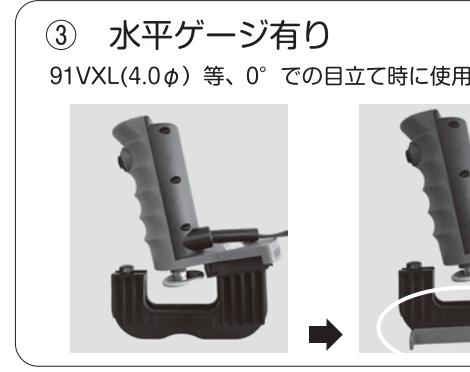
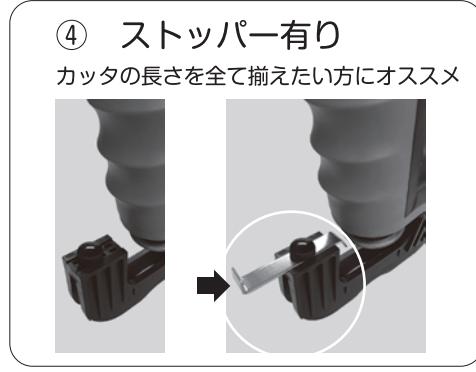
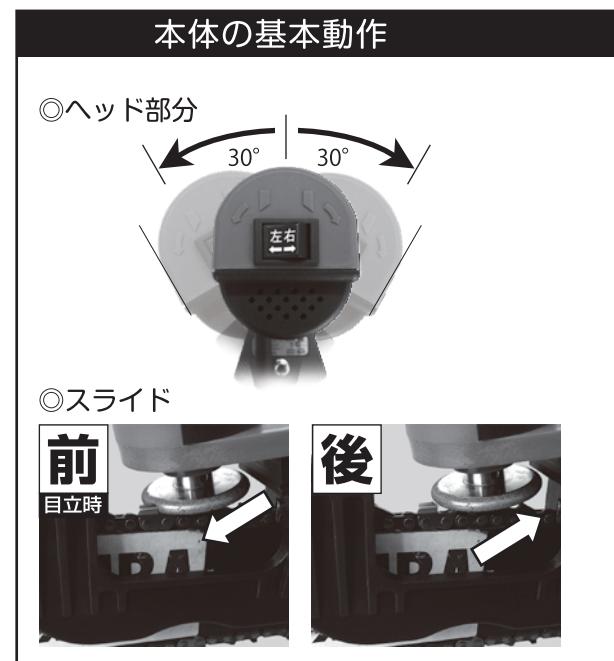
目立てスイッチを押してモーターを回転させながら、正逆転スイッチを切り替えることは、絶対にしないでください。

モーターが破損する原因となります。

各部の名称および標準付属品



- 本体
- CBNホイール
- 水平ゲージ
- スッパー
- 六角レンチ



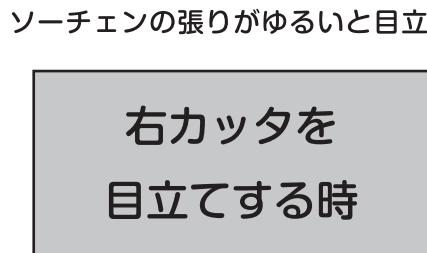
1

2

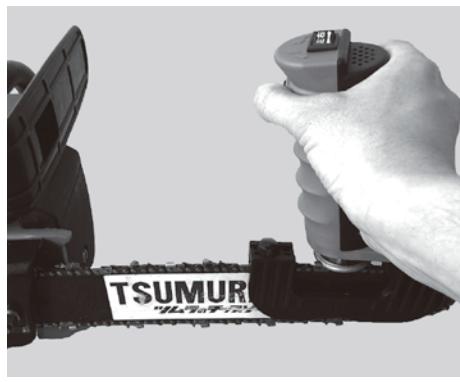
天

◆ストッパー無し 基本目立て方法 ◆

⚠ 砥石が目詰まりした際は、砥石を本体から取り外し
市販のスプレー式パーティクリーナーで洗浄してください。



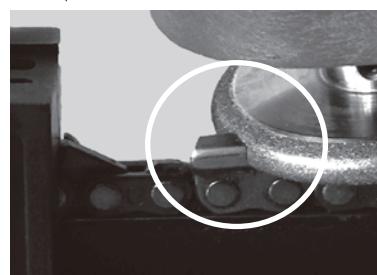
チェンソー本体部を左に
ガイドバーが右になる様に置き、
目立てスイッチは、親指で押すと操作しやすいです



① ヘッドを首振りします

② モーター左回転スイッチを
押します

③ 切刃と砥石を当てながら
（※軽く当てるだけで押し当てないで下さい
強く押し当てるとモーター焼けの原因になります）



④ 目立機が傾く方向に倒しながら押
し当て、目立てスイッチを1秒程、
押せば一刃の目立て完了です



左カッタを目立てする時

チェンソーの向きは、そのまま動かさないで下さい



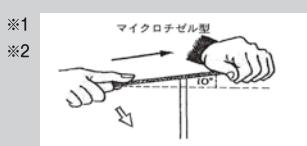
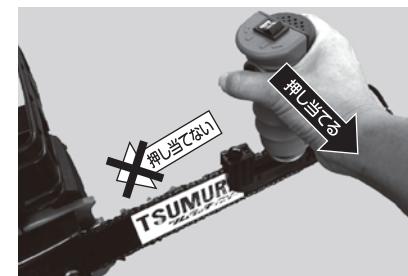
① ヘッドを首振りします

② モーター右回転スイッチを
押します

③ 切刃と砥石を当てながら
（※軽く当てるだけで押し当てないで下さい
強く押し当てるとモーター焼けの原因になります）



④ 目立機が傾く方向に倒しながら押
し当て、目立てスイッチを1秒程、
押せば一刃の目立て完了です



マイクロチゼル型を水平に目立てするとカッタの形状から横刃にや
すりが喰い込んだ状態になるので、これを避けるため、手元(手前)を
10°下げてすり込みます
目立機を傾く方向に倒すと、10°下げてすり込むことが出来ます

※水平ゲージ装着については P.06 下段参照

10° : 25 AP (4.0 φ) / 95 VPX
21 BPX (4.8 φ) 等
0° : 91 VXL (4.0 φ) 等
(付属の水平ゲージを装着して
目立てを行って下さい)

P4

地

3

P5

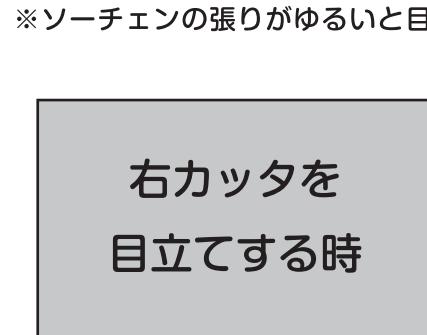
地

4

天

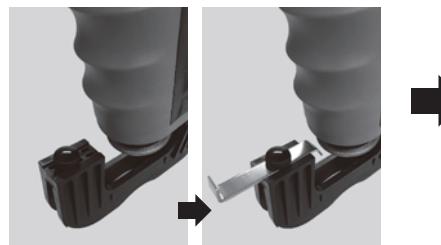
◆ストッパー有り 本格目立方法 ◆

⚠ 砥石が目詰まりした際は、砥石を本体から取り外し
市販のスプレー式パーティクリーナーで洗浄してください。



① 付属品のストッパーをセットします

(まだネジは仮止めで)
(固定しないで下さい)



② ヘッドを首振りします



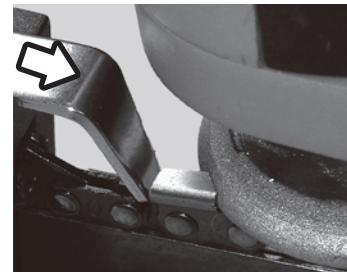
P6

地
折
天

③ モーター左回転
スイッチを押します



④ 切刃に砥石を当てながら切
刃後部にストッパーを押し
当てネジを固定して下さい



⑤ 目立機が傾く方向に倒しながら押し当て、
切刃後部とストッパーが離れない様左手で
しっかりと固定し、目立てスイッチを1秒
程押せば
一刃の目
立て完了
です



⑥ 左手はそのまま本体を握りながら右手
を矢印方向に引くとヘッド部分のみが
スライドします。切刃と砥石が離れた
ら、次の切刃へ移動して下さい



⑦ 次の切刃後部にストッパーを押し当て、
右手を矢印方向に押すと、ヘッド部分
のみがスライドし、砥石が切刃に当た
ります

(ストッパー固定ネジはゆるめないで下さい)

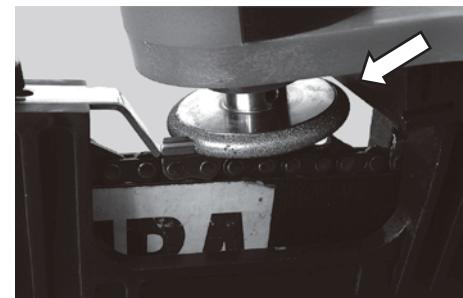
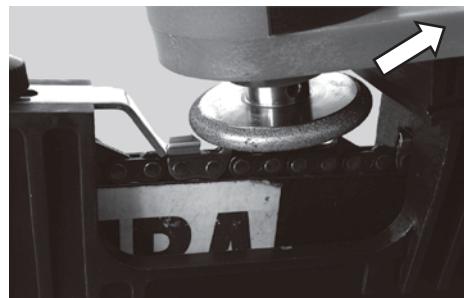


⑧

後は、⑤⑥⑦を繰り
返せば右カッタの
目立て完了です

ストッパー固定ネ
ジをゆるめず、左
カッタの目立ても
同様に行って下さ
い

P7



地

水平ゲージ装着時

左右関係なく、水平ゲージを装着した側に押し当て目立を行って下さい。

6